

「有料老人ホームの入居検討に関する調査」

<目次>

1. 有料老人ホームを探すきっかけ
2. 老人ホームの中で、有料老人ホームを検討した理由
3. 自宅での介護期間
4. 自宅での介護への参加人数
5. 有料老人ホームの入居検討に参加した人数
6. 有料老人ホームに見学してから入居決定までの期間
7. 有料老人ホームを検討した家庭の被介護者の金融資産、月収
8. 有料老人ホームに入居した家庭で、入居費用の支払を負担している人
9. 有料老人ホームを検討したが、入居しなかった回答者の理由

<調査概要>

【調査期間】2017年6月9日～12日 【調査方法】インターネット調査
【調査エリア】首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）／京阪神（大阪・京都・兵庫）

【対象者_共通条件】

1. 30～69歳 男女
2. 家族・親戚の中に、「加齢による介護が必要な方」（被介護者）がいたことがある方
3. 最近3年以内に、その被介護者が有料老人ホーム※1へ入居することを検討しており、その入居検討に関与した方
4. 入居を検討する際に、ネットを利用して「施設の情報」を調べた方

【有効回答数】

3年内入居開始者：156名（3年以内に被介護者が有料老人ホーム ※1の入居を開始した方）
2年内入居検討者：195名（被介護者が有料老人ホーム ※1には入居をしていない方 ※2）
計：351名

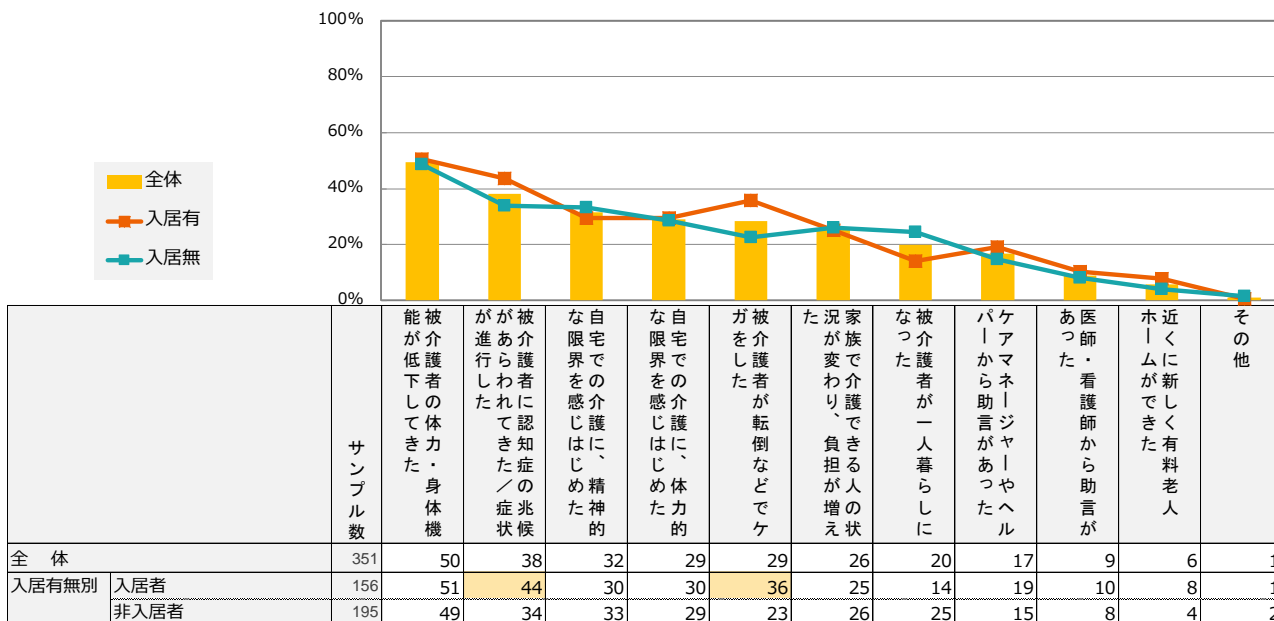
※1 「介護付き有料老人ホーム」および「住宅型有料老人ホーム」

※2 他施設に入居した／施設に入居しなかった／検討中のいずれかに該当

1. 有料老人ホームを探すきっかけ

有料老人ホームを検討したきっかけを聞いたところ、最終的に入居しなかったと回答した人の中で最も多かった回答は「体力・身体機能の低下」が49%、次いで「認知症の発症・進行」が34%、「自宅での介護に精神的な限界を感じた」が33%だった。一方、入居したか回答した人は「体力・身体機能の低下」が51%、次いで「認知症の発症・進行」が44%、「転倒などのケガ」が36%で、より明示的な理由がきっかけで探し始める傾向にある。

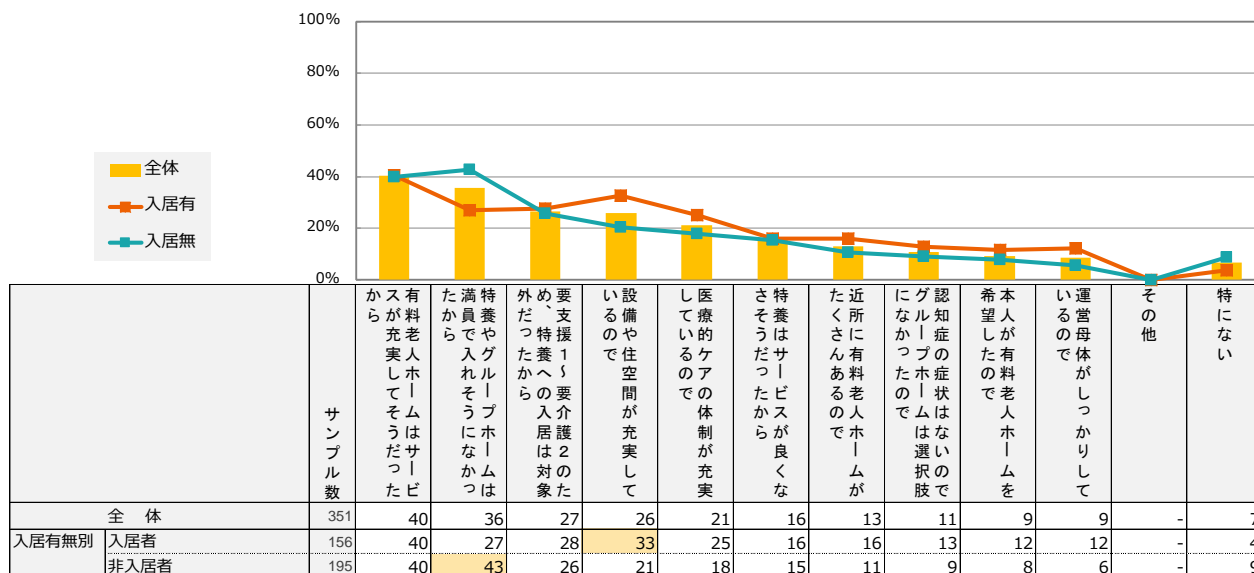
◆被介護者の方を有料老人ホームに入居させたいと思い始めたきっかけは何ですか？（複数回答）



2. 老人ホームの中で、有料老人ホームを検討した理由

様々な介護施設の中でなぜ有料老人ホームを検討したのかを聞いたところ、入居しなかったと回答した人は「特別養護老人ホームが満床で入れない」(43%)という回答が最も多く、次いで「サービスが充実しそう」(40%)と回答している。入居したと回答した人の最も多かった回答は「サービスが充実しそう」(40%)、次いで、「設備が充実している」(33%)だったことから、入居に至った人は、よりポジティブな理由で有料老人ホームを検討し始めたことがわかる。

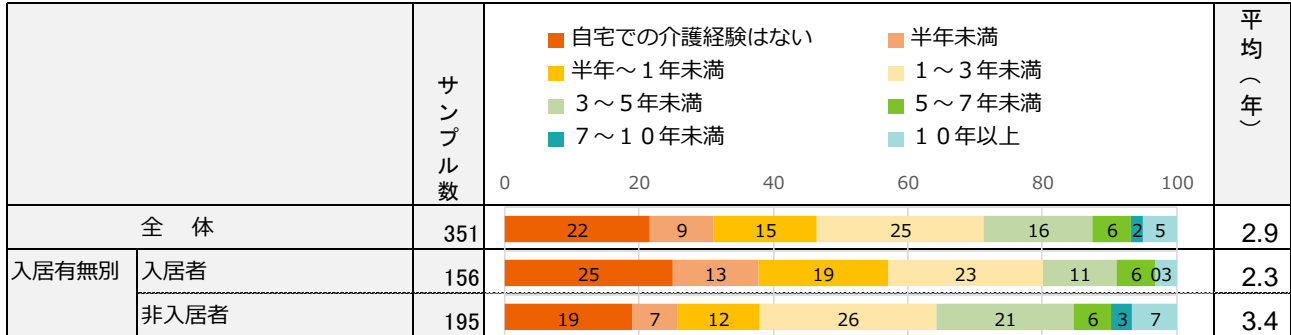
◆様々な介護施設がある中で、なぜ有料老人ホームに入居させたいと思ったのですか？（複数回答）



3. 自宅での介護期間

有料老人ホームを検討する時点での自宅での介護期間を聞いたところ、入居しなかったと回答した人は平均3.4年で、「自宅での介護期間なし」は19%、「1年未満」は38%、「3年未満」は64%だった。一方、入居したと回答した人は平均2.3年で、「自宅での介護期間なし」は25%、「1年未満」は57%、「3年未満」は80%で、入居しなかった人より短かった。

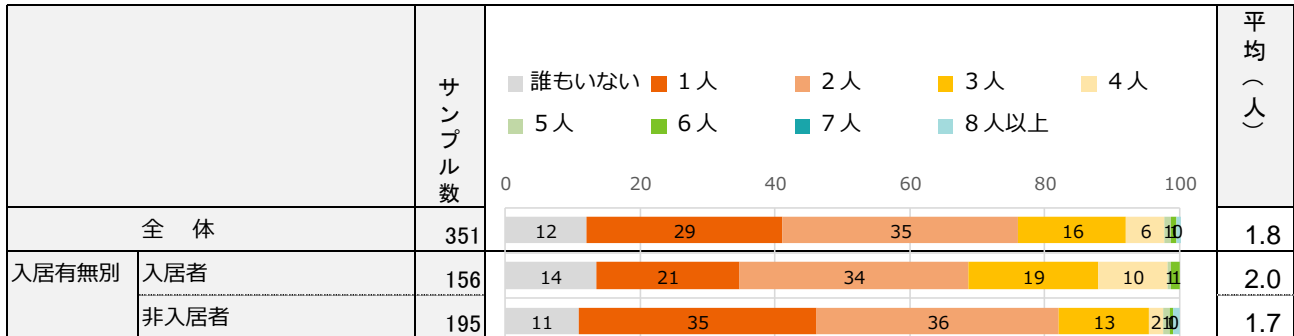
◆介護を必要とする方は、「自宅での介護」はどのくらいの期間になりましたか。(単一回答)



4. 被介護者が有料老人ホームに入居した回答者と入居しなかった回答者の在宅介護参加人数

自宅での介護に参加した人数を聞いたところ、入居しなかったと回答した人の場合は平均1.7人で、回答別にみると「1人」は35%、「2人」が36%、3人以上の回答は合計で18%だった。一方入居したと回答した人は介護参加人数が平均2.0人とやや多く、「1人」は21%、「2人」が34%、3人以上の回答は合計で31%だった。

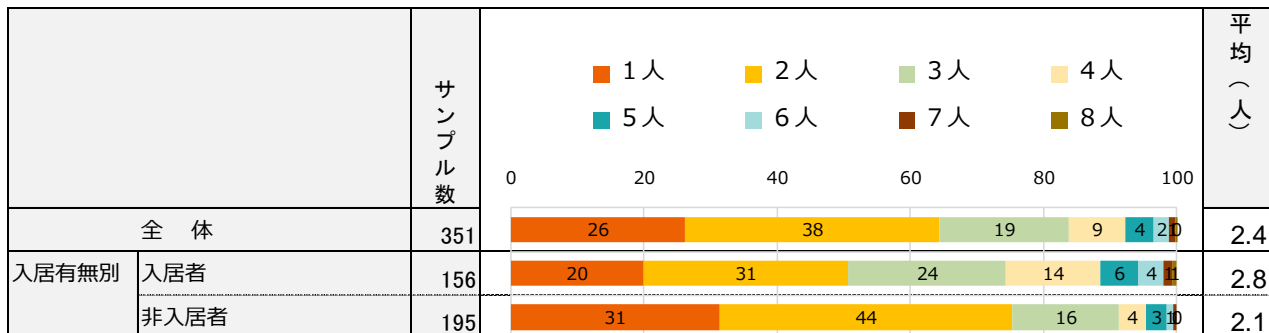
◆ご家族の中で、被介護者の方の介護(身の回りのお世話など)に関わっていた方は何人いますか?(単一回答)



5. 有料老人ホームの入居検討に参加した人数

有料老人ホームの入居検討に関わった家族の人数を聞いたところ、入居しなかったと回答した人の平均は2.1人で、「1人」で検討した方は31%、「2人」は44%、3人以上と回答した人の合計は25%だった。一方、入居したと回答した人の平均は2.8人でやや多く、回答別にみると「1人」が20%、「2人」が31%に対し、3人以上と回答した人の合計は49%だった。

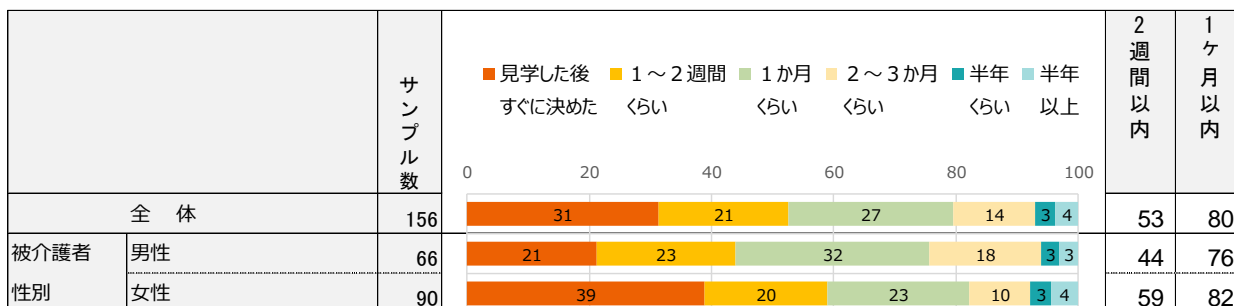
◆ご家族の中で、有料老人ホームの比較・検討に関わった方は何人いますか。(単一回答)



6. 有料老人ホームに見学してから入居決定までの期間

候補の有料老人ホームに見学後、入居する施設を決めるまでの期間を聞いたところ、「1か月以内」が80%、「2週間以内」が53%、「見学後すぐ」が31%だった。また入居者本人の性別で見たところ男性より女性の方が入居決定までの期間が短い傾向が見られ、「見学後すぐ」が39%、「2週間以内」が59%だった。

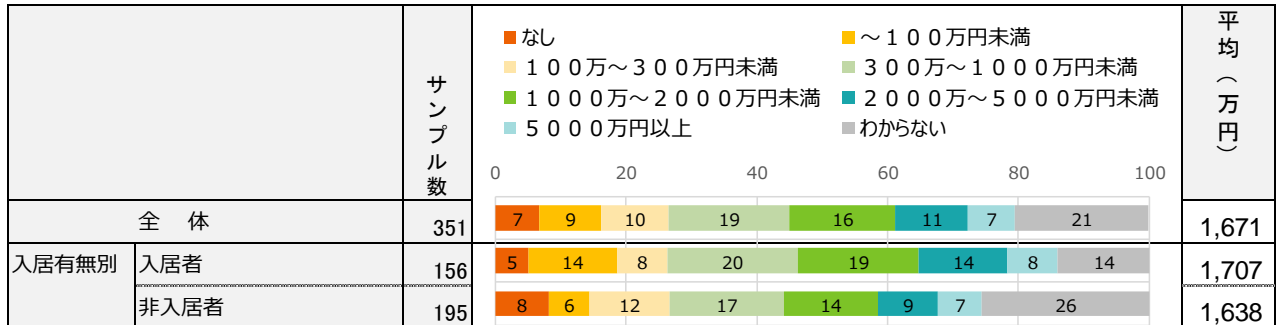
◆候補の有料老人ホームに見学に行って、入居する施設を決めるまで、どのくらいの期間が掛かりましたか(単一回答)



7. 有料老人ホームを検討した家庭の被介護者の金融資産、月収

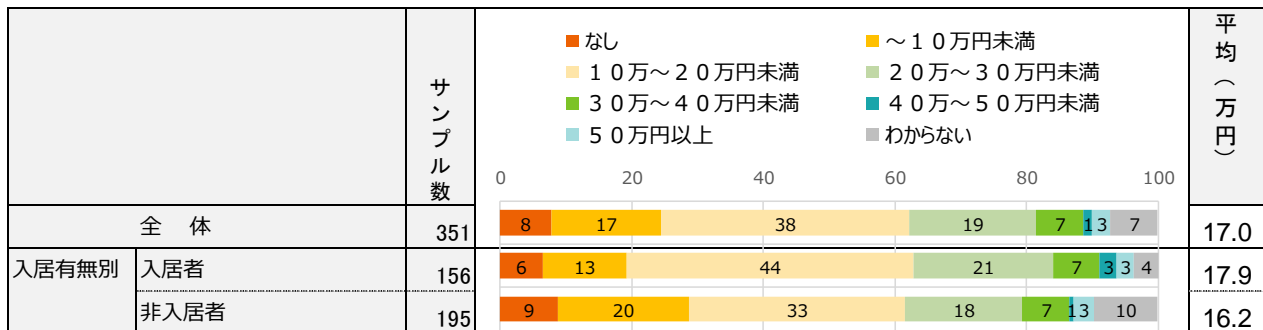
有料老人ホームへの入居を検討した人に、被介護者の金融資産を聞いたところ、平均で1,671万円だった。回答別にみると、「0～300万円」が27%、「300～1,000万円」が19%、「1,000～2,000万円」が16%、「2,000万円以上」が18%、「わからない」が21%だった。入居した人の金融資産は平均1,707万円で、入居しなかった人の平均額1,638万円より高いが、「0～300万円」の割合は26～27%と大きな差はない。一方で「わからない」という回答の割合は、入居したと回答した人の場合14%だったことに対し、入居しなかったと回答した人は26%と高くなっており、入居したと回答した人のほうが被介護者の資産状況を把握している。

◆有料老人ホームを検討していた頃、介護を必要とする方の預貯金や有価証券を含めた金融資産はどのくらいでしたか？（単一回答）



また被介護者の月収について聞いたところ、平均で17.0万円だった。回答者の割合は「0～10万円」が25%、「10～20万円」が38%、「20～30万円」が19%、「30万円以上」が11%、「わからない」が7%だった。入居した被介護者の月収は平均17.9万円なのに対し、入居しなかった被介護者は16.2万円とやや低く、「0～10万円」と回答した人の割合は入居した人で19%、入居しなかった人で29%だった。

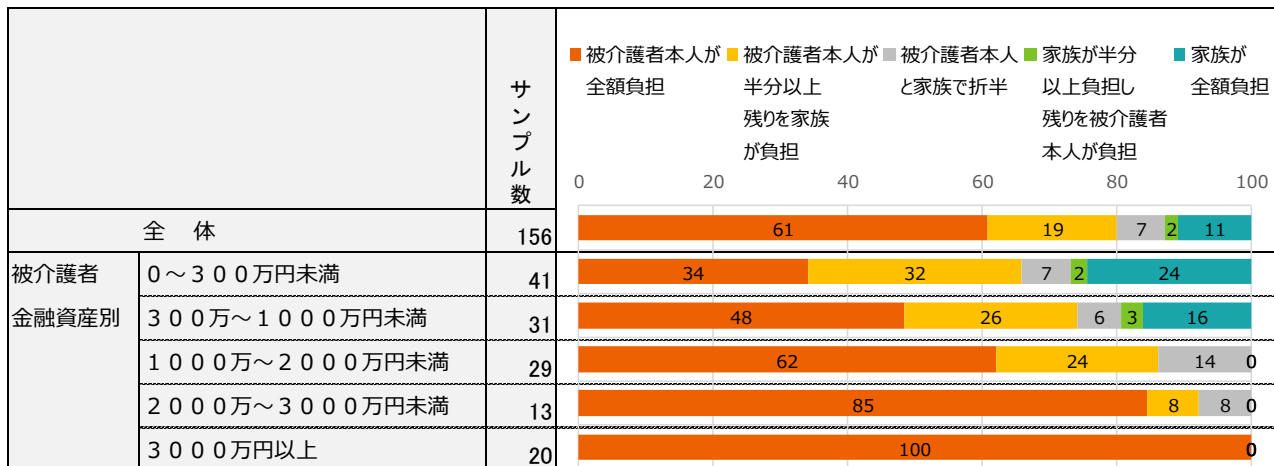
◆有料老人ホームを検討していた頃、介護を必要とする方の年金や家賃収入を含めた1カ月の収入はどのくらいでしたか？（単一回答）



8. 有料老人ホームに入居した家庭で、入居費用の支払を担っている人

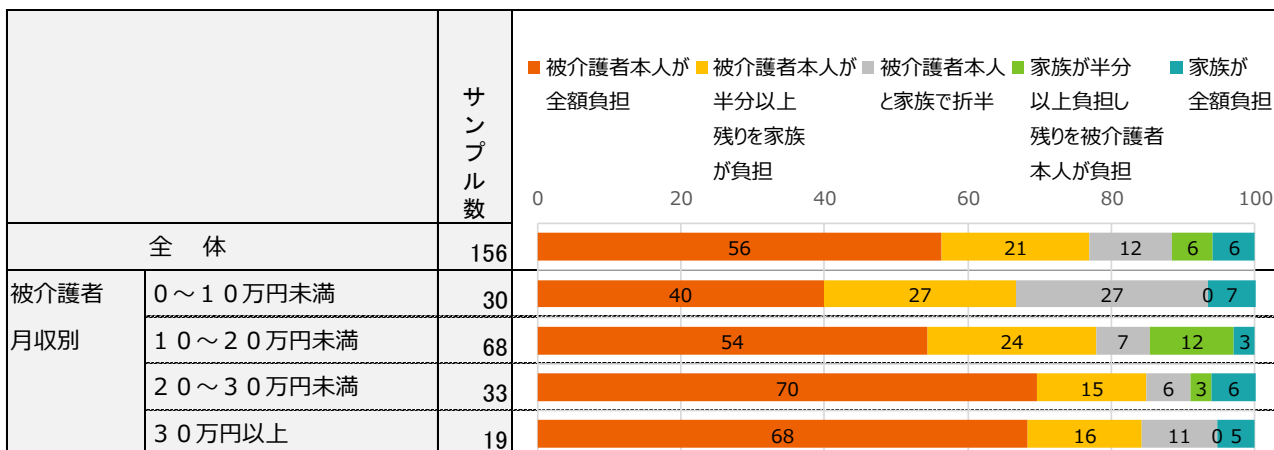
有料老人ホームに入居した人に、初期費用をどなたが負担しているかを聞いたところ、「被介護者本人の全額負担」が61%、「被介護者本人が半分以上、残りを家族が負担」が19%、家族が半分以上を負担が20%だった。また入居者本人の金融資産別にみると、「300万円未満」の場合、入居者本人が全額負担した割合はで34%、「1000万円未満」で48%、「2000万円未満」で62%となっている。

◆入居した有料老人ホームの初期費用はどなたが負担していますか？（単一回答）



また毎月の利用料の負担者について聞いたところ、「被介護者本人の全額負担」が56%、「被介護者本人が半分以上、残りを家族が負担」が21%、家族が半分以上を負担が23%と、初期費用より、やや家族の負担割合が高い。また入居者本人の月収別にみると、「0～10万円」の場合、被介護者が全額負担していると回答した人の割合はで40%、「10～20万円」の場合54%、「20万円以上」の場合で約70%だった。

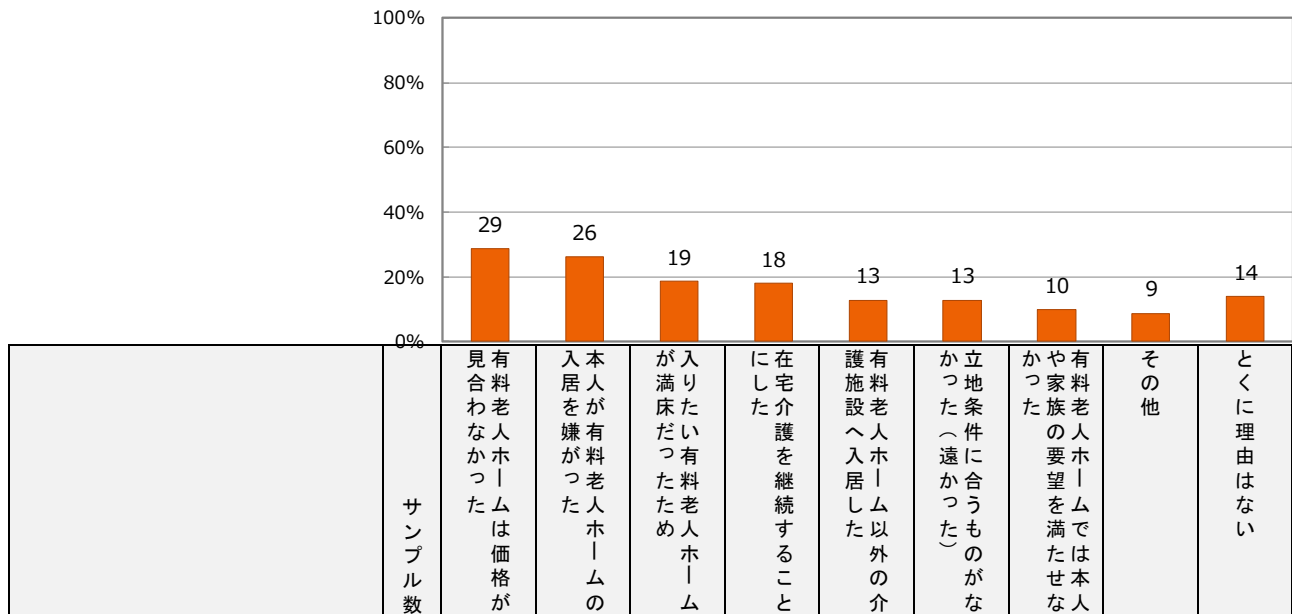
◆入居した有料老人ホームの毎月の利用料はどなたが負担していますか？（単一回答）



9. 有料老人ホームを検討したが、入居しなかった回答者の理由

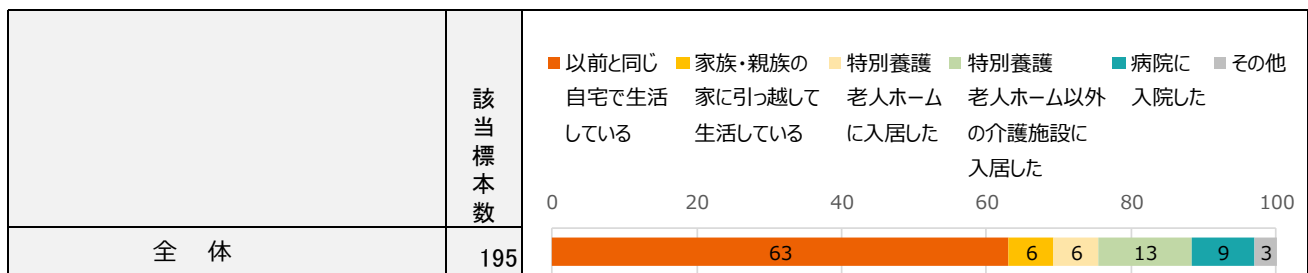
有料老人ホームを検討したが入居しなかった人の、入居に至らなかった理由は、「価格が見合わなかった」が29%で最も多く、次いで「本人が入居を嫌がった」が26%、「入りたい有料老人ホームが満床」も19%あった。

◆現時点で有料老人ホームへの入居に至っていない理由何ですか？（複数回答）



また検討後、入居に至っていない人に、被介護者がどのように生活・介護を受けているかを聞いたところ、「以前と同じ自宅もしくは家族の家」が69%、「有料老人ホーム以外の介護施設に引っ越した」が19%、「病院」が9%だった。

◆現時点で有料老人ホームへの入居に至っていない被介護者の方はどのように生活・介護していますか？（単一回答）



<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社LIFULL senior マーケティンググループ 広報担当
TEL : 03-6774-1616 FAX : 03-6774-1820
E-MAIL : kaigo-info@homes.co.jp

■株式会社 LIFULL seniorについて

株式会社 LIFULL senior (ライフ シニア)
代表取締役 : 泉 雅人
資本金 : 5,747万円
事業内容 : 日本最大級の老人ホーム・介護施設の検索サイト「LIFULL介護」の運営
サービスURL : <http://kaigo.homes.co.jp/>

■株式会社LIFULLについて (旧社名 : 株式会社ネクスト、東証第一部 : 2120、URL : LIFULL.com/)

株式会社LIFULL (ライフ) は、「不動産業界の仕組みを変えたい」という信念のもと、1997年に設立した住生活情報サービス運営企業です。主要サービスの不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」は総掲載物件数No.1 (※)。住まいを中心に介護、インテリア、保険など周辺分野にも事業を拡大し、現在は『LIFULL HOME'S』のグローバル展開、世界最大級のアグリゲーションサイト「Trovit」の運営等、世界57ヶ国でサービス提供しています。

LIFULLグループは、「あらゆるLIFEを、FULLに。」をコーポレートメッセージに掲げ、世界中のすべての人に、安心と喜びのライフソリューションを提供します。

※産経メディックス調査 (2017.1.26)